

週 報

2025 年 1 月 26 日 No. 3001

日本キリスト教団 六ツ川教会

牧 師

桐 藤 薫 (きりふじ かおる)

集 会 場 所 横浜市南区六ツ川 2-125-13

通 信 先 TEL 045-713-5563

ホームページ <https://mutsukawa-church.com>



【年間主題聖句】

何事も愛をもって行いなさい。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 16 章 14 節)

【今週の聖句】

そのときから、イエスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。

(マタイによる福音書 4 章 17 節)

降誕節第 5 主日礼拝

2025 年 1 月 26 日(日) 午前 10 時半より

礼拝の進行中、起立や着席がありますが、それが困難な方はどうぞ着席のまま礼拝にご参加ください。

司式・説教

桐藤 薫 牧師

奏 楽

桐藤 飛鳥 師

聖書朗読 堀木 敏子

【神の招き】

前 奏

招 詞

賛 美 「みどりもふかき」 (289)

回 心 の 祈 り 「キリエ・エレイソン」 (31)



赦しの宣言

頌 栄 「み栄えあれや」 (28)

GLORIA PATRI
曲：Charles Meinecke, 1782—1850

み さ か え あ れ や、 ち ち と 子 と せ い れ い に、 は

じ め も い ま も と わ に か わ ら ず、 み か み に アーメン、アーメン。

(♩ = 54)

【神の言葉】

祈 り

聖 書 朗 読

【新約聖書】 マタイによる福音書 4章 12-17 節

¹² イエスは、ヨハネが捕らえられたと聞き、ガリラヤに退かれた。¹³ そして、ナザレを離れ、ゼブルンとナフタリの地方にある湖畔の町カファルナウムに来て住まわれた。

¹⁴ それは、預言者イザヤを通して言われていたことが実現するためであった。¹⁵ 「ゼブルンの地とナフタリの地、湖沿いの道、ヨルダン川のかなたの地、異邦人のガリラヤ、¹⁶ 暗闇に住む民は大きな光を見、死の陰の地に住む者に光が射し込んだ。」¹⁷ そのときから、イエスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。

応 答 唱 「すべての人よ」 (46) 《着席のまま2回歌う》



説 教 「生き方を変える」

賛 美 「わが身の望みは」 (474)

【感謝の応答】

信 仰 告 白 (使徒信条)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

とりなしの祈り



奉 献
主 の 祈 り

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。み国を来ら
せたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の
糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我
らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救い出したま
え。国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

【派 遣】

報 告
賛 美
祝 福
後 奏

「心に愛を」 (88)